

「災害弱者の避難」

西廣亮太

要旨

日本では自然的条件から地震、津波、豪雨、洪水、暴風、竜巻、火山噴火など多くの自然災害が危惧されており、災害は多様化・複雑化していることから災害に対する適切な対策や対応が求められている。そのような状況で、近年の災害を見ると、障がい者や高齢者などの災害弱者が災害による犠牲者に占める割合が大きい。つまり、災害弱者に関する問題は猶予の許されない課題であり、災害弱者の対策を考えることが災害による犠牲者を減らすことに繋がるのではないかと考え、本研究を行っている。特に、災害弱者の避難に関する支援・対策について論じており、過去の災害での課題を挙げ、現在の対策や法制度を理解した上で、災害弱者の避難を支援するための提言をする。また、平時から災害弱者だけでなく、市民一人一人が災害に対してより強い関心を持ち、災害による犠牲者を減らすために努め続ける社会を実現すべきである。